

大正十一年三月二十四日印刷納本
大正十一年三月二十五日發行

第二

天

界

大正十一年
四月號

第七十號

火星歡迎號



內容

（白繪）火星の軌道の圖（木版畫）
火星を紹介す……………六七

火星の運動（圖入）……………七二
京都帝國大學助教授 理學士 山本 一 清

火星の受ける日光の恵み（圖入）……………八〇
東京天文臺技師 理學士 百濟 教 猷

火星を觀る人々に……………八七
京都帝國大學天文臺助手 古川 龍 城

神戶行の記……………八八
中米、英領ジャマイカ島 M・H・ヒケリントン

（新刊）古賀氏編（簡易星圖）……………九三
（紹介）古賀恒星圖

一時望遠鏡による太陽投影法……………九四
（中村 要）
●「天文通信」を讀みて……………九五
（水野千里）

（雜）新星發見……………九七
北冠R型の一新變光星
報セフェウス座U星の週期
彗星發見

同好會報……………九八

附 錄 天界第一卷總目錄及び索引

象 天 の 月 四

太陽 四日午後十一時、清明節。二十一日午前六時半、
白羊宮より金牛宮へ入る、穀雨節。

月 五日午後三時、上弦。(双子座の東)

十二日午前五時半、満月(乙女座の北)

十九日午前十時、下半月(射手座東北隅)

二十七日午後二時、新月

水星 月初めは曉星であるが、二十五日上合して宵星
となる。太陽に近くて観測は駄目。

金星 毎夕、西の地平上に低く見える筈であるが、
山や雲があつてはいけない。但し光は^{マイナス}負三等。

火星 蝸と蛇遣ひの境あたりを順行中。毎夜々半

東より出現。距離も近く、愈々観測期
に入る!

木星 乙女座を逆行中。四日に衝、距離一億二千萬里。

光は負二等、全天の誇り。観望最好
期!

土星 乙女^ヲ星の北を逆行中。日没時には既に東天に高
い。光は二等。観測頗る好し。

天王星 水瓶^ノ星の東を順行中、毎夜、朝の日出前、東天
に見える。双眼鏡が必要。

海王星 蟹座^ノ星の西北にゆるく逆行、二十四日は留。
一吋以上の望遠鏡を要す。

流星群 二十日頃、琴座西端あたりから出現、夜半以後

の観測に適す

Contents of THE HEAVENS No. 17.....edited by I. Yamamoto.

The Orbit of Mars (Frontispiece).....*I. Yamamoto*, Introduction to
Mars.....*K. Kudaru*, Motions of Mars.....*R. Furukawa*, The Martian
World...*W. H. Pickering*, To Martian Observers of the Present Year,
...A Trip to Kobe (*I.Y.*).....*Mr. Koga's Charts (Reviews)*.....*K.
Nakamura*, Solar Projection with a 1-inch Telescope.....*C. Mizuno*,
Reading the "Communications from the Fujii Observatory," ...New
Star in Puppis.....A New Variable of R Coronae TypeNew
Period of U Cephei...New Comet.....Letters.....Notes...Reports.
APPENDIX: General Contents and Index of THE HEAVENS
Vol. I.

Published by The Society of Astronomical Friends,
Kyoto University Observatory.

廣 告

硝子拭界の大改革

新案特許出願中

(ヒサゴガラス、ヌグイ) 顯る

本器の特徴

- 一、水があれば目的が達せられる
- 一、一度本器をあてがへば充分
- 一、塵がとれて曇りを生ぜず!
- 一、使ひ方簡便にして時間早し
- 一、水分取れて塵の着く事遅し
- 一、値段が安くて永らくもてる

大阪市南區天王寺逢坂上之町

四九七一

發案者 稻村賢造

御照會次第値段使用法等を報知す

殘部あり、前月發行のものは同好會員に限り每號金五錢で分配す

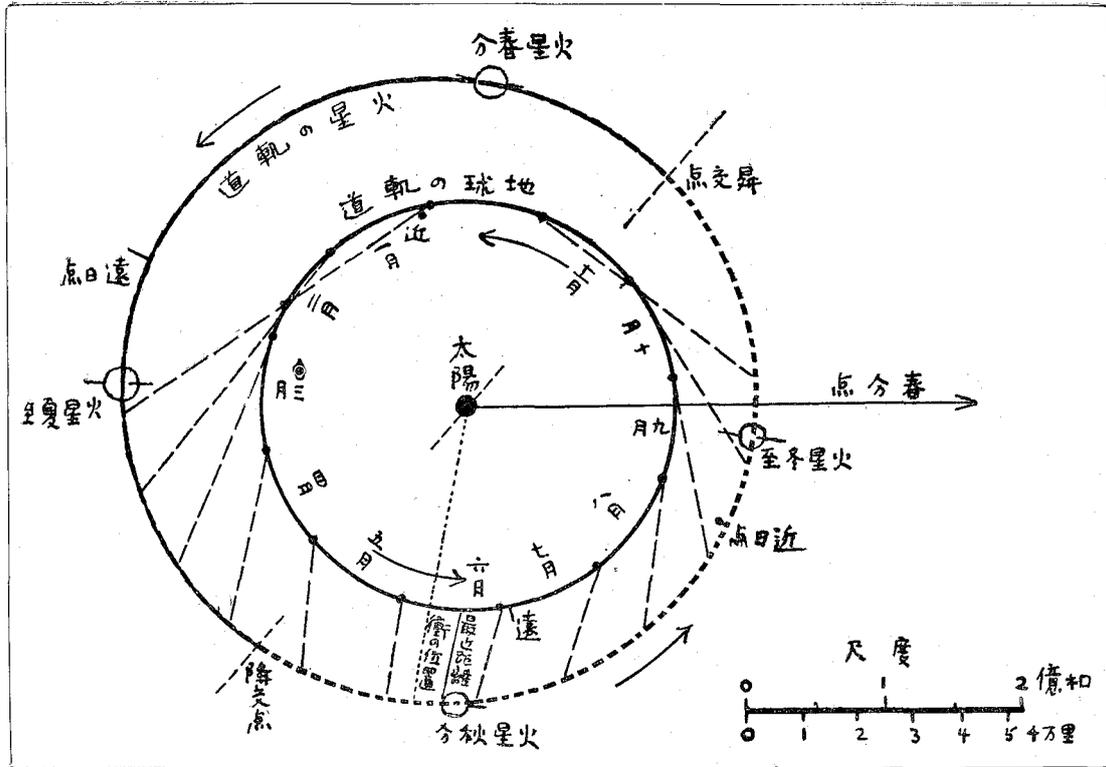
LATEST K.U.O. BULLETINS PUBLISHED

- No. 13. (25. Feb., 1922)
Observations of Gegenschein (對日照の觀測)
Revival of Bright Zodiacal Light (大黃道光の再現)
Mr. Koga's Charts. (古賀氏の星圖)
- No. 14. (28. Feb., 1922)
On Pons-Winnecke's Meteors. (ウインネケ流星について)
- No. 15. (2. March, 1922)
Monthly Report of Sun.Spot Observations. (太陽黑點觀測)
Algol. (アルゴール星)
- No. 16. (17. March, 1922)
Sick Nakamura's Activity. (病中の中村氏の活躍)
SS Aurigae. (駁者座SS星)
An Occultation by Mars. (火星による一掩蔽)

Published by the Society of Astronomical Friends, Kyoto University Observatory.

京都大學天文臺内 天文同好會發行

火星の軌道



Orbital Motion of Mars in 1922.

編輯室より

「よくいらつしやい！ 火星君!! 二年と五十日ぶりで、御機嫌好う。此の前よりはもつと近く、四百四十萬里のところまでつと御遠慮なく御出で下さい」火星に心があるならば、かうも言ひたい其の心持で此の號は編輯されました。山本、百濟、古川、ビケリング四氏の文、同じ珍客をそれ／＼四方面から、何等の重復もなくそれでゐて、よく連絡されて書き上げられました火星歓迎のために、先づ之れだけの文を精讀して下さい。ごへ出ても大丈夫です六月の火星號には、いよ／＼其の星の表面を紹介させよう。▲讀者に御すめしいことは、第七二頁の百濟氏の文中に入れた圖にあるやうな圖を、自分で作つて見て頂きたいことです。學校の先生方であれば、生徒にも觀察させて、刻々變りゆく星の位置を星圖の上に記入させて御覽になれば、神秘的な火星運動を充分に味はうことが出來ます。この目的で古賀氏の簡易星圖を御用ゐになるのが最も適當と思ひます。▲京都ではオモシロめから家庭博覽會

大阪では四月に入つて計量博覽會と光學展覽會の催しがあり、之れ等に皆、天文の出品の勧誘を受けたのは愉快であります小學校の教科書には純天文の有力な教材が採用せられる。天文講習會はつき／＼にあちこちで計畫される。國の内外に天文學者の來往は頻繁になる。黃道光が消えない。火星が來る——雜誌や新聞には天文記事が絶えず出る。かうして我が國の社會には今や天文の時代が來た。此の時代に同好會員たるものは、既に一日の長があるわけでありませう。山本氏のいはゆる「天文を知らざれば人に非ず」といふ日が遠からず來ることは請け合ひです。▲序でに申しますが此の頃の新聞雜誌の中には、すいぶん如何はしい讀んで冷汗を流すやうな記事が出る場合がありますから、讀者の御注意を願ひます。著者や筆者を御選み下さい。外國雜誌の抄譯なども案外大間違ひがありますから。

事務室にて

都合により、本會は、今後、望遠鏡輸入の取り次ぎを中止します。理由は次號を見て下さい。

(號七十第界天)

大正十一年三月廿四日印刷
大正十一年三月廿五日發行 (定價二十五錢 郵稅金五圓)

京都帝國大學天文臺内

編輯兼 發行所 天文同好會

右代表者 山本 一 清

大阪市西區京町堀通一ノ一六

印刷者 羽尾 武助

大阪市西區京町堀通一ノ一六

印刷所 工業之日本社印刷部

丸善株式會社

(東京、京都、大阪、福岡、仙臺)

賣捌所 岩波書店

東京神田裏神保町

警醒社

東京京橋銀座尾張町

星圖無しに星を見る者は燈なくして暗夜を行くが如し

星圖は天文の鍵、宇宙旅行の獨案内

天文同好會の
大阪支部幹事 古賀和吉氏編

古賀恒星圖

定價金壹圓五十錢 郵税金八錢

京都大學天文臺

天文同好會發行

世界の何所からでも見ゆる星を全部網羅し、尙外に數百の星雲と星團、雜誌を含む

東京、大阪、京都
仙臺、福岡、横濱
丸善株式會社發賣